

産業界等と連携した「リアルな学び」の推進

生産年齢人口の減少
絶え間ない技術革新
予測困難な時代

グローバル化の進展
社会構造・雇用環境
の変化

教師の世代交代による
知見等の継承

産業教育設備等の
更新の問題

学校の工夫だけでは指導の限界

高校卒業後の県内就職

県外進学後のUターン就職



産業界等と連携した「リアルな学び」の必要性

地元企業の方から実社会に即した知識・技術等を学ぶ

「リアルな学び」実践例



工業「実習」

企業の設備を使用し、産業ロボット
操作を企業の方から学ぶ

商業「課題研究」

マーケティングや実際の商品
開発の手法を企業の方に来校
してもらって指導してもらう



「総合的な探究の時間」

生活に役立つアプリ開発をテーマに
研究を行っており、実際のアプリ開発
の手法などを企業で講義してもらう



「産学連携コーディネーター」の配置

県教委内に「連携コーディネーター」を配
置し、連携をサポートする。

- ・学校や商工会議所・商工会等を訪問し、
学校が産業界と連携した「リアルな学び」
を実施するためのサポートを行う。
- ・学校や商工会議所・商工会等を訪問し
得られた連携の希望や実績の情報をリス
ト化し必要に応じて情報提供を行う。

学校が想定していな
かった新たな連携
を発見できる可能性



産業界等と連携した「リアルな学び」の推進により...

高度な知識・技術の習得



地元の企業を知る機会の増加

おかやま創生を担う人材の育成



第4次岡山県教育振興基本計画における目標指標

産業界・大学等と連携した探究的な学びや課題研究を行った県立高校生の割合

現況値(R5)	R7	R8	R9	R10
74.0%	77.0%	80.0%	83.0%	85.0%